

東亜ディーケーケー株式会社
(証券コード 6848)

2025年度 (2026年3月期) 決算説明資料

2026年7月13日



I. 2025年度決算概要

II. 2026年度業績予想

III. 中期経営計画の進捗 (2025年度～2027年度)

本資料の金額は、表示単位未満を切り捨てているため、合計が合わない場合があります。
比率は小数点以下第2位を四捨五入しています。

2025年度 実績

- ◆売上高 178億円(前期比1.4%減)
 - 主に国内販売が減少
- ◆営業利益 4.8億円(前期比63.9%減) 営業利益率 2.7%
 - 売上原価(主に在庫評価損)・研究開発費増により減益
- ◆親会社株主に帰属する当期純利益 9.4億円(前期比15.1%減)
 - 投資有価証券売却 687百万円

2026年度 予想

- ◆売上高 189億円(前期比6.1%増)
 - 公共インフラの需要回復や半導体関連市場への販促強化による売上増を計画
- ◆営業利益 12億円(前期比148.2%増) 営業利益率 6.3%
 - 利益率は増収や原価率改善により改善見込み

I . 決算概要 (2)損益計算書



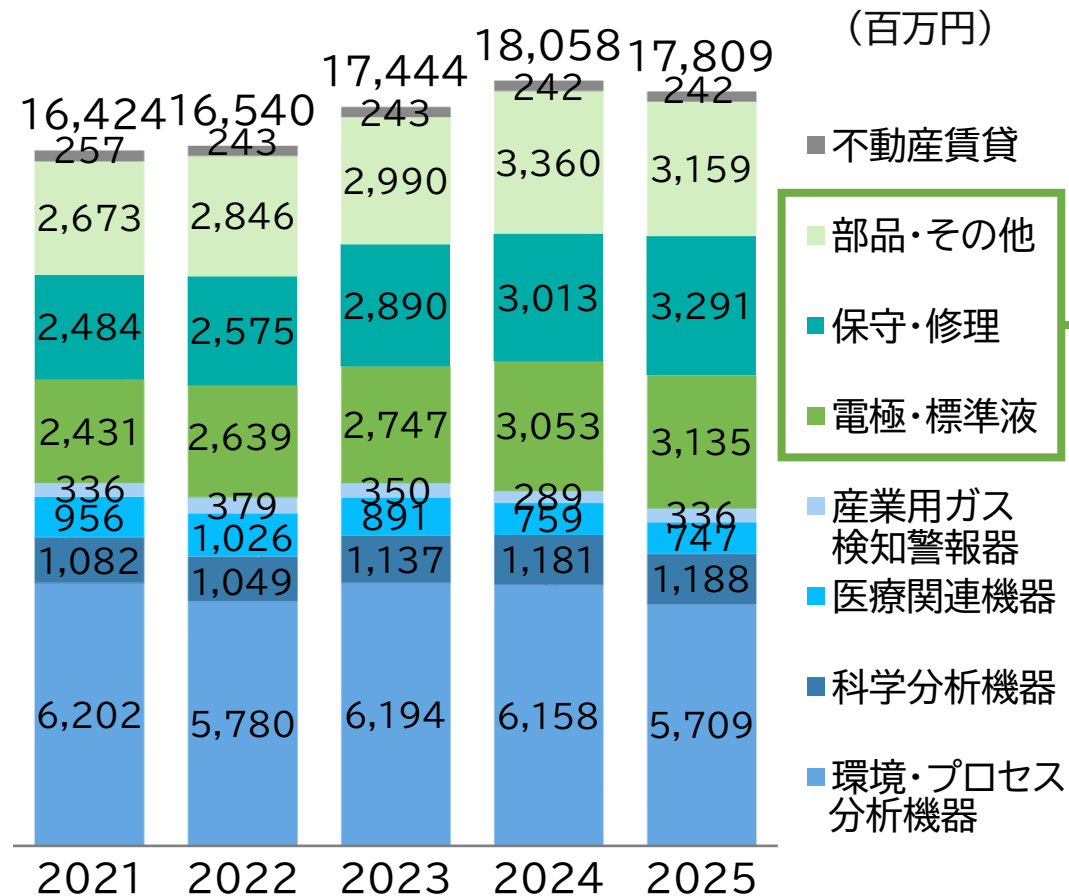
- ・売上高は主に国内事業で半導体工場建設計画の延期や公共インフラ需要が軟調で減収
- ・利益は売上原価率(在庫評価損、労務費・原材料費の高騰)、研究開発費の増加で減益

(百万円)

	2024年度実績		2025年度実績				業績予想(公表値)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減率	金額	業績予想比
売上高	18,058	—	17,809	—	▲249	▲1.4%	18,500	▲3.7%
売上原価	11,755	65.1%	12,164	68.3%	+409	+3.2pt	—	—
販売費及び一般管理費	4,965	27.5%	5,162	29.0%	+196	+1.5pt	—	—
営業利益	1,338	7.4%	483	2.7%	▲854	▲63.9%	1,516	▲68.1%
経常利益	1,474	8.2%	600	3.4%	▲873	▲59.3%	1,584	▲62.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,113	6.2%	945	5.3%	▲168	▲15.1%	1,160	▲18.5%

I. 決算概要 (3)分野別売上高

- ・計測機器事業の売上比率は98・6%で、装置・機器販売44.8%、アフタービジネス53.8%
- ・アフタービジネスは堅調に増収傾向



■環境・プロセス分析機器 前期比▲7.3%

- <国内> 半導体工場建設計画の延期や公共インフラ需要軟調により減収
- <海外> 台湾で半導体向け販売好調も、中国で環境水質計の販売低調で減収

■科学分析機器 前期比+0.6%

海外販売が堅調

■医療関連機器 前期比▲1.6%

主要製品の人工透析用粉末溶解装置の販売が減少

■アフタービジネス 前期比+1.7%

(電極・標準液、保守・修理、部品・その他)

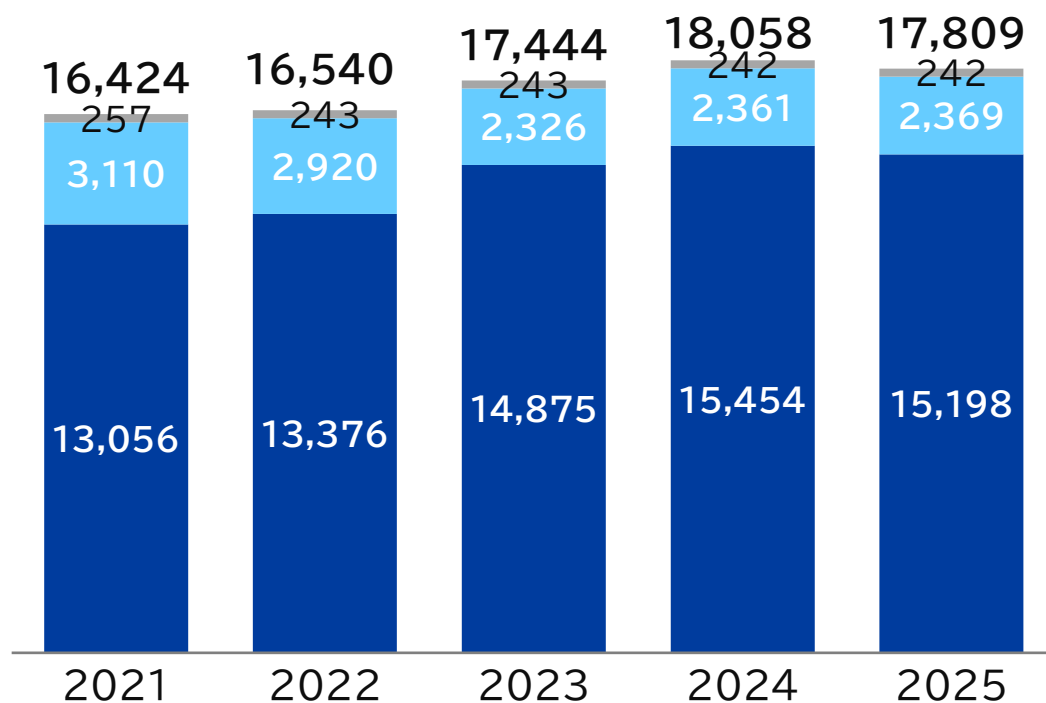
部品販売は減少も、保守・修理が好調

I. 決算概要 (4)地域別売上高

- ・国内: 民需(半導体関連)・官需(インフラ)が軟調で減収
- ・海外: 中国向け販売低調も、台湾の半導体設備向け販売が好調で増収確保

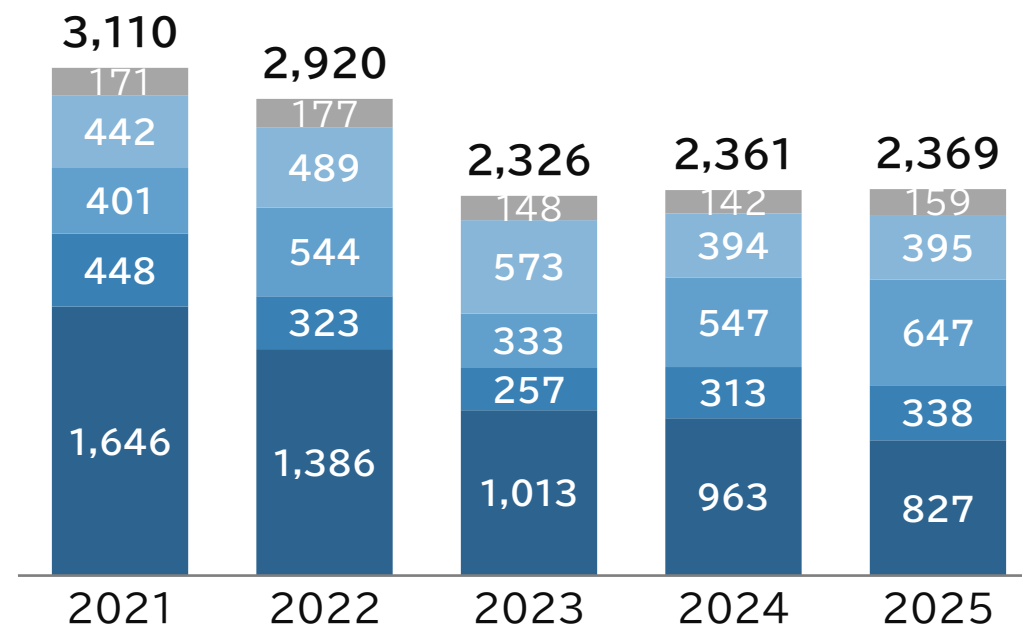
国内外の売上高

■ 計測機器: 国内 ■ 計測機器: 海外 ■ 不動産賃貸 (百万円)



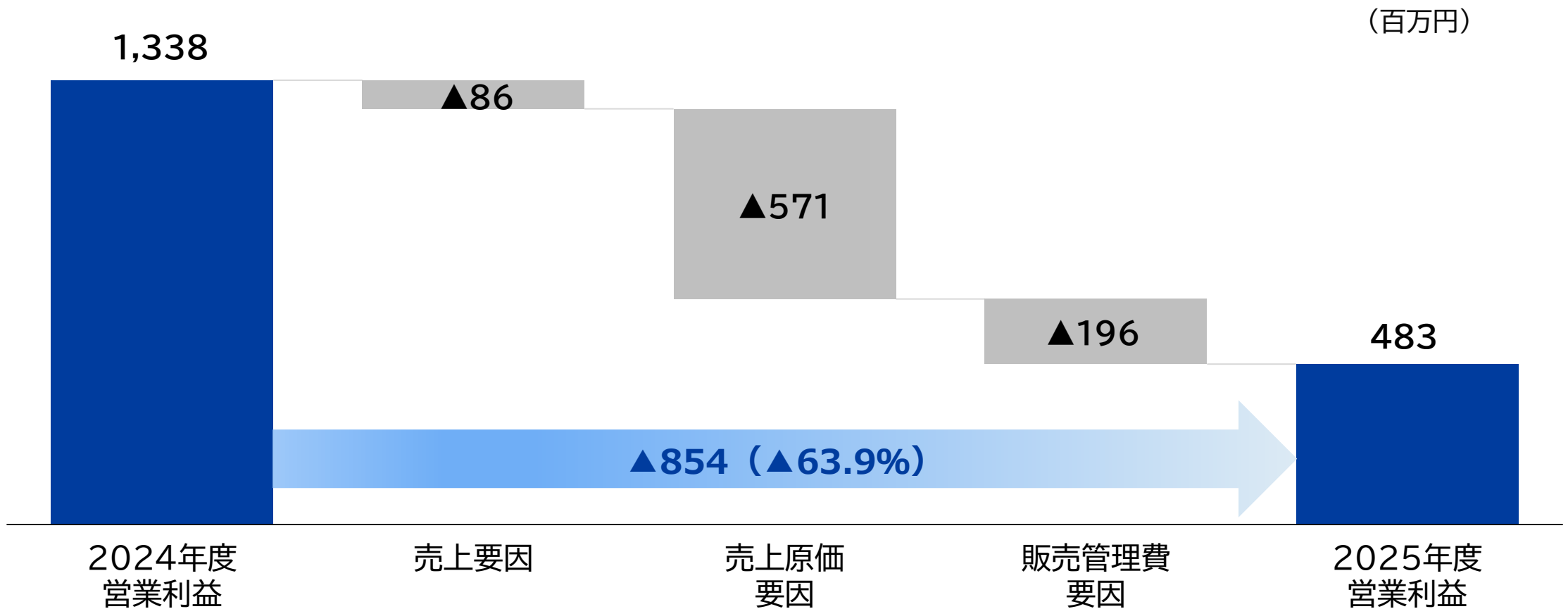
海外の国別売上高

■ 中国 ■ 韓国 ■ 台湾 ■ その他アジア ■ その他 (百万円)



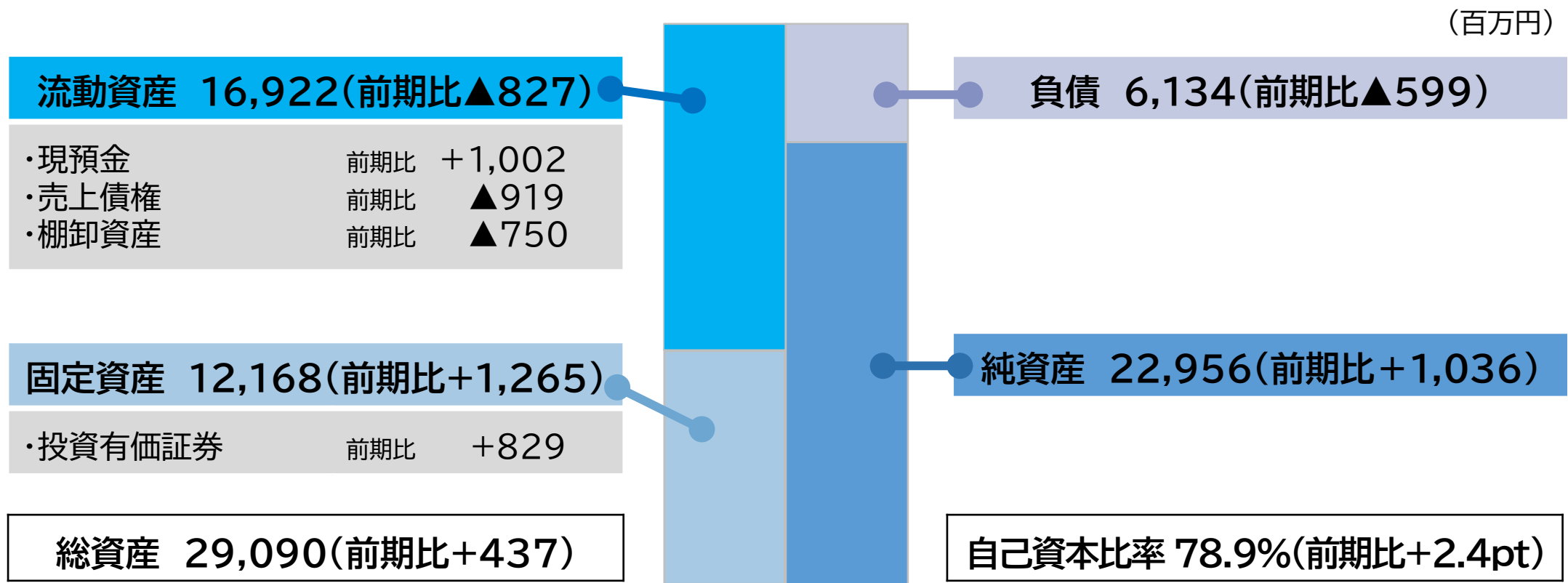
I. 決算概要 (5) 営業利益増減

- ・売上原価:在庫の評価損計上や労務費・原材料費の高騰により増加
- ・販売費及び一般管理費:研究開発費の増加により増加



I. 決算概要 (6)貸借対照表

- ・売掛債権の回収と投資有価証券の売却により現金預金は増加
- ・在庫評価損の計上、仕掛品の減少により棚卸資産は減少



I. 2025年度決算概要

II. 2026年度業績予想

III. 中期経営計画の進捗 (2025年度～2027年度)

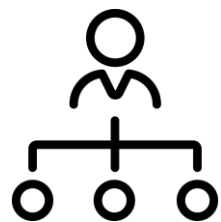
本資料の金額は、表示単位未満を切り捨てているため、合計が合わない場合があります。
比率は小数点以下第2位を四捨五入しています。

- (国内事業)・環境計測および公共インフラ向け更新需要の着実な獲得
 - ・長期保守契約獲得に向けた体制整備など、顧客サービス体制強化を継続
- (海外事業)・日本・台湾に加え、欧米・中国・韓国の半導体関連市場の開拓を推進
 - ・インド・タイ・ベトナムを中心に環境水質・大気分析計の販売拡大
- (収益改善)・在庫適正化や生産効率向上により売上原価率を改善

(百万円)

	2025年度実績		2026年度予想			
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減率
売上高	17,809	—	18,900	—	+1,090	+6.1%
営業利益	483	2.7%	1,200	6.3%	+716	+148.2%
経常利益	600	3.4%	1,300	6.9%	+699	+116.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	945	5.3%	910	4.8%	▲35	▲3.8%

半導体関連市場での売上拡大



体制整備

- ・先端市場戦略室を新設
- ・専任の開発チームを立ち上げ



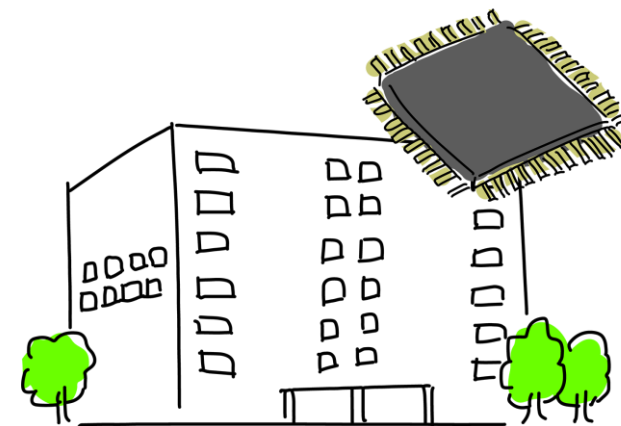
営業・開発連携

- ・半導体メーカー等へのアプローチ強化
(主に台湾・日本・シンガポール・ドイツ)
- ・ニーズを新製品開発へスピーディーに反映



サービス強化

- ・アフターサービス体制の整備による受注機会の拡大



国内事業の深化



ソリューション強化

- ・計測機器＋関連システムの提案
- ・システムインテグレーター機能向上

当社計測機器



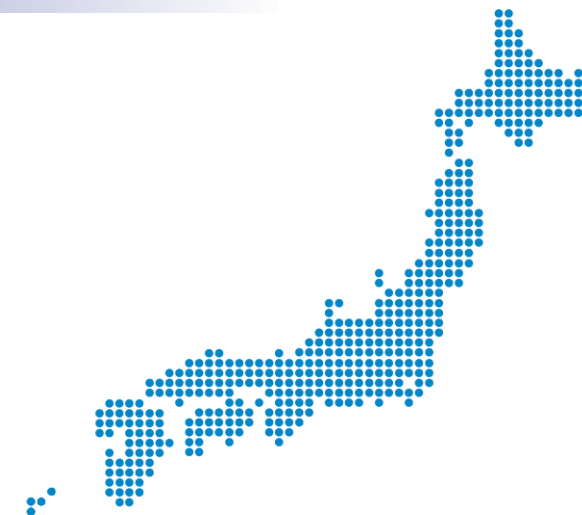
多様なシステム

- ・自動化
- ・遠隔監視
- ・計測環境構築(前処理)等



既存市場展開

- ・環境計測、インフラ更新需要取り込み
- ・長期保守契約の獲得によるアフタービジネス拡大



海外事業の拡大



半導体市場への展開

- ・欧米・中国・韓国を開拓



アジア成長市場での事業拡大

- ・ハック社との協業による販売強化
- ・タイ・ベトナム・インドを中心に環境水質・大気分析計の拡販



基盤強化

- ・販売チャネルの拡充
- ・ブランド浸透の推進（展示会、SNS、業界団体・大学との交流）



もっといいモノづくり



技術力強化

- ・製品・システム開発の推進
- ・技術協業
- ・技術人材の育成・技術継承



生産基盤強化

- ・サプライチェーンDXの推進
- ・新基幹システムで生産性向上
- ・岩手東亜DKK新工場棟建設を含む拠点最適化

設備投資は予定通り進捗

- ・全社で新基幹システム導入
・2027年4月 本格稼働予定



投資
予定額
約12億円

- ・岩手東亜DKK 新工場棟建設

- ・2025年12月 ZEB認証取得
- ・2026年12月 竣工予定

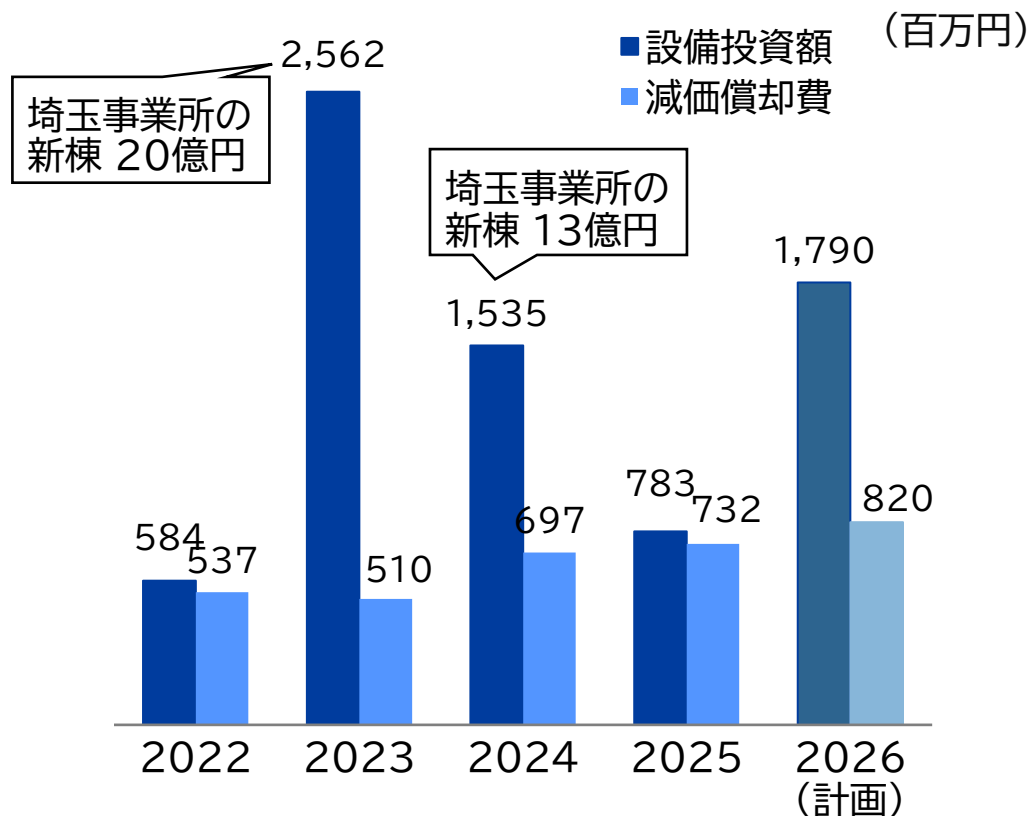


投資
予定額
約14億円

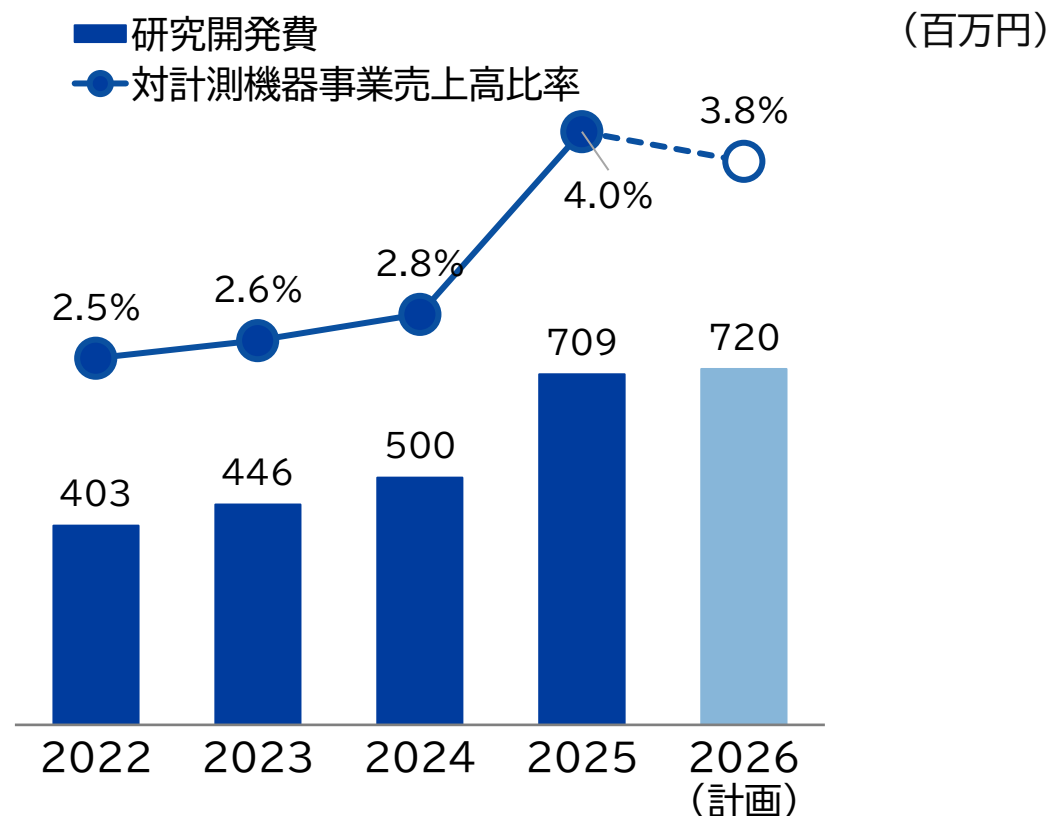
Ⅱ．業績予想（３）投資関連

- ・設備投資：岩手東亜DKKの新工場棟などの製造設備や全社のIT設備を強化
- ・研究開発費：海外認証の取得や半導体市場向け製品開発に注力

設備投資・減価償却費

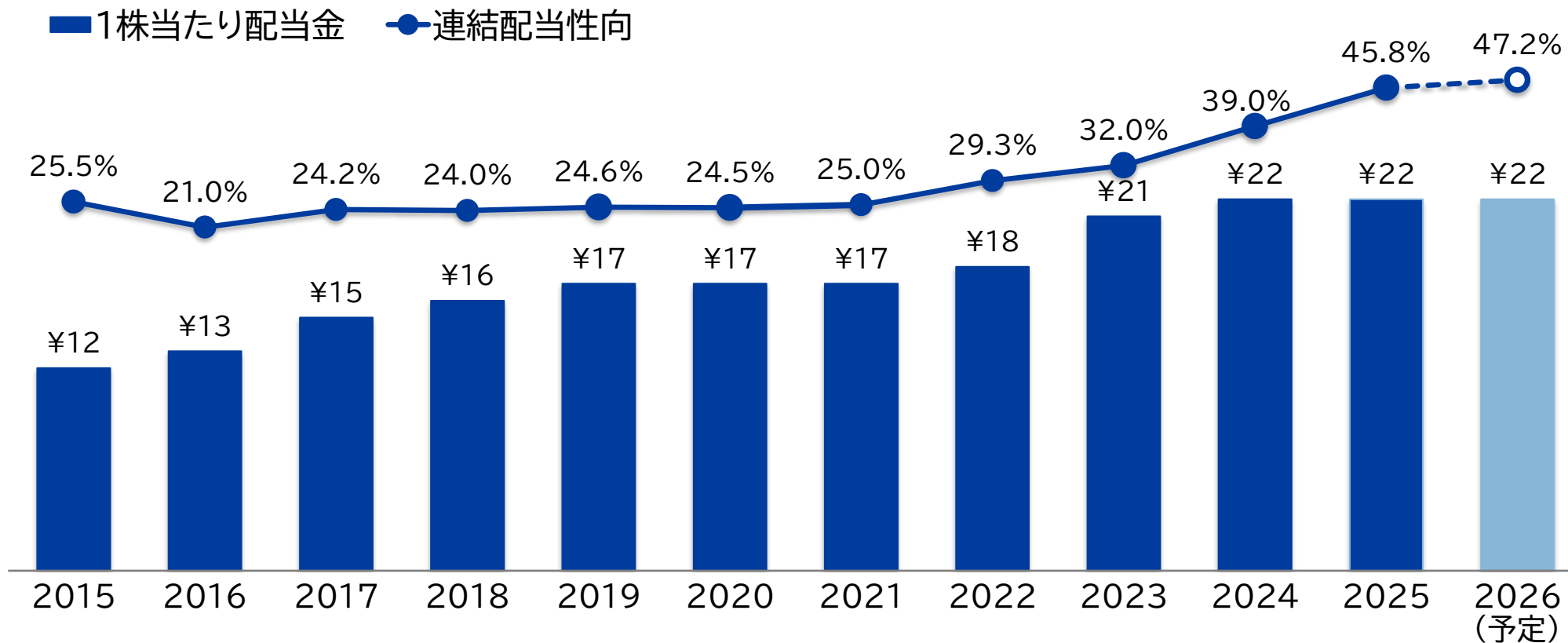


研究開発費



Ⅱ．業績予想（4）株主還元

- ・ 配当性向30%以上を目安に適正かつ安定的な累進配当を継続
- ・ 総還元性向※を意識した機動的な自己株式取得
→2025年12月に312,200株(自己株式を除く持株比率1.58%)を取得



※ 総還元性向 = (配当金 + 自己株式取得) ÷ 当期純利益

I. 2025年度決算概要

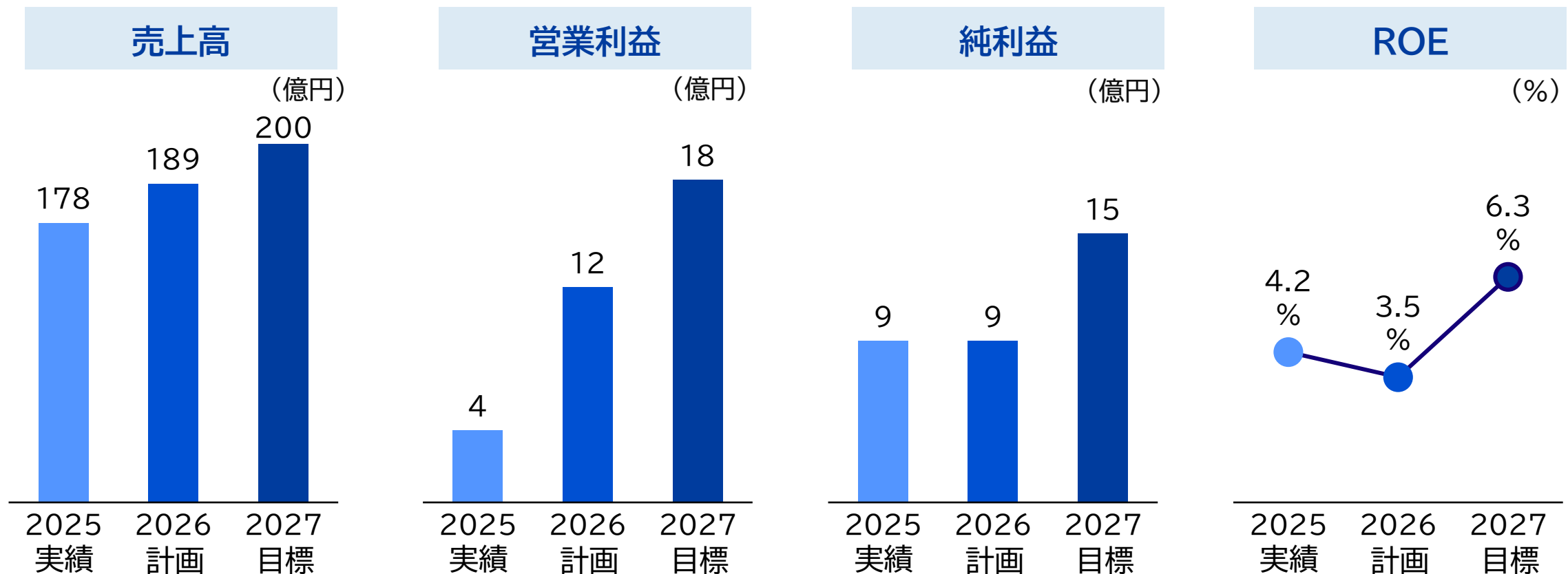
II. 2026年度業績予想

III. 中期経営計画の進捗 (2025年度～2027年度)

本資料の金額は、表示単位未満を切り捨てているため、合計が合わない場合があります。
比率は小数点以下第2位を四捨五入しています。

Ⅲ. 中期経営計画の進捗 (1)業績

- ・ 初年度は売上・利益ともに計画未達も、中期目標200億円に向け積み上げていく
- ・ 利益率は、増収や価格転嫁も含めた原価率低減により回復を見込む



	重点施策	足元の成果
国内事業	・システムインテグレーター化 ・HACH社を活用した販売強化 ・アフタービジネス、新市場向け販売強化	・他社との協業：遠隔監視システム(他社アプリケーション)を利用した製品を展示会に出展 ・定期点検の委託拡大に向けたシステム導入準備 ・東亜DKKサービス(株)にテクニカルセンターを開設し、お客さま対応や販売・サービス支援を強化
海外事業	・欧米・半導体企業向け販売強化 ・HACH社を活用した販売強化 ・アジア新興国向け販売強化	・先端市場戦略室を新設し、半導体分野への営業を強化 ・タイ事務所にて、ベトナムでの技術移転・現場実装や、タイでの新販売チャネルとの連携を推進
社会課題への挑戦	陸上養殖、リチウムイオン電池(リサイクル)、ZLD海水淡水化など新市場の開拓	新市場の開拓を進める一方、市場環境の変化を踏まえ、現在は半導体分野への拡販強化
サステナビリティの更なる深化	各マテリアリティのKPI目標に対しPDCAを実践	マテリアリティのKPI目標は計画通り進捗

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。



- お問い合わせはこちらから <https://www.toadkk.co.jp/contact/ir/>
- 当社Webサイト IR情報ページ <https://www.toadkk.co.jp/ir/>